

J R 東海 労申第 16 号  
2023 年 3 月 1 日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海労働組合  
中央執行委員長 木下 和樹

### 雪害など自然災害時の列車運行についての申し入れ

今年の 1 月 24 日夜～25 日にかけて、J R 西日本では大雪の影響により東海道線などの多くの線区で複数の列車が立ち往生をしてしまい、多くの利用者が長時間列車内に閉じ込められる事象が発生した。

J R 東海の管内でも、東海鉄道事業本部内では多くの線区が雪の影響を受ける線区があるが、会社は「業務改革」として多くの駅を無人化して「集中旅客サービスシステム」を導入しているが、このような事態が発生した場合に少数の乗務員で、鉄道をご利用されているお客様の安全が確保できるのか、組合として問題があると考ええる。

従って、下記の通り申し入れるので、団体交渉を開催すること。

### 記

1. J R 東海管内の路線上の分岐器には、電気融雪器が導入されているのか明らかにすること。
2. 分岐器カンテラを使用している駅で「集中旅客サービスシステム」を導入している又は導入予定があるのか明らかにすること。
3. 「集中旅客サービスシステム」を導入して無人化された駅構内の便所は、今回のような非常時に使用できるようになっているのか明らかにすること。
4. 「集中旅客サービスシステム」を導入して無人化された駅舎内には、災害時を想定して非常食や非常用品などは備蓄されているのか明らかにすること。
5. J R 東海管内の路線で便所を設置していない編成で長距離を走行している列車があるが、全ての列車に便所を設置する計画はあるのか明らかにすること。
6. 便所を設置していない編成で長距離を走行している列車が長時間も駅間で停車してしまった場合、又は停車する恐れがある場合の取り扱いについて、会社はど

のように考えているのか、明らかにすること。

7. 新幹線では長時間停電すると列車内の便所が使用できなくなり、簡易トイレを設置するが車内に搭載されているのは約300人分であるが、定員1323名の列車で約300人分しか無いのは少なすぎると思うが搭載量を増やす考えはあるのか、明らかにすること。
8. 在来線では長時間停電すると列車内の便所が使用できず簡易トイレの搭載もされていないが、簡易トイレを搭載する考えがあるのか明らかにすること。
9. 今回のJR西日本の事象を教訓として、JR東海として何か検討していることがあれば明らかにすること。

以 上